

# ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2020年3月24日～3月30日)

2020年3月31日

在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

●ルカシェンコ大統領、崔駐ベラルーシ中国大使と会談(3/24)

●ルマス首相、「ロシア石油企業、ベラルーシにプレミアム無しで石油供給予定」(3/24)

●リバコフ・ベラルーシ石油化学コンツェルンベルネフチェヒム会長、製油所の原料調達に関する発言(3/21)

## 【ルカシェンコ大統領動静】

●ラフコフ国家安全保障委員会書記、クレニン国防大臣と会談(3/30)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・国境近くで発生していること、すなわち NATO の軍事演習「Defender Europe 2020」に対する対応について議論したい。ただし、ベラルーシ側からの武器を持った声と認識されて欲しくない。我々も、ベラルーシ国境近くで行われる NATO の軍事演習をその類のものと認識していない。また、当初の計画より、(当館注：軍事演習が行われる場所が)大きく後退している。

・軍は、通常状態で機能しており、行事の延長や注視は検討されていない。ヴィテプスク州にて、英国・ベラルーシ平和維持部隊の演習が行われている。評判は非常に良く、誰かを緊張させるものであってはいけない。我々は平和を必要としており、平和維持活動は、我々が常に協力してきたラインである。我々の主要パートナーであるロシアもこの方向への働きかけを減らしていない。

(3/30 大統領府公式ホームページ)

●ベラルーシ国営建設資材製造企業、ベルギプス社を視察(3/27)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・建設規則が過度であってはならない。10～12年前、余分な基準の廃止と欧州基準への移行を目的に建設規則の見直しを行った。

・民間企業、とりわけ建設業が活動方針を変更し始めた。問題は従業員の解雇である。一社でも、規模に関係なく、人々を道路に捨てる(当館注：解雇することがあれば、その会社はベラルーシで存在できなく

なるであろう。困難の時に人々を支援し、雇用を維持する必要がある。

(3/27 大統領府公式ホームページ)

●レヴィッツ・ラトビア大統領と電話会談(3/24)

両者は、ルカシェンコ大統領によるリガ訪問の延期、エネルギー輸送を含む物流や生産協力等の二国間貿易経済関係、新型コロナウイルスに伴う国境閉鎖に関する協力について協議した。

(3/24 大統領府公式ホームページ)

●崔駐ベラルーシ中国大使と会談(3/24)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・新型コロナウイルスであろうと、二国間関係の発展を妨げることはない。両国協力の回復に注力する必要がある。単に回復、更新するのではなく、一定の後退を克服し、協力を拡大していく必要がある。習近平国家主席のベラルーシ訪問をお待ちしていると伝えてほしい。

・中国の支援によりベラルーシにおいて、プールやスタジアムの新設等、各種案件が実現されている。中央ヨーロッパにある、この2つの中国のスポーツ施設において大規模な国際大会が開催されることを願う。

・ベラルーシは、中国の知見も考慮にいれ、新型コロナウイルス対策を講じている。ベラルーシにおける陽性患者の多くが外国からの入国者である。ベラルーシに入国する中国人は多いが、当国に新型コロナウイルスを持ち込んだ者はいなかった。ベラルーシ疫学者が中国の専門家に対し質問を行い、その答えが無い、ということは一度も無かった。貴大使および中国国民に感謝する。

崔大使の発言要旨は以下の通り。

・中国はベラルーシとの協力と友好を高く評価する。貴大統領は常に中国との関係発展に大きな注意を割き、多数の分野における二国間協力を配慮し、前進して頂いている。貴大統領とお会いするのは大変光栄である。

(3/24 大統領府公式ホームページ)

## 【外交】

### ●米国、新型コロナウイルス対策のためベラルーシに130万ドルの資金援助を決定。

供与資金は、研究所システムの準備、感染検知・疫学監視の活発化、技術専門家への支援等に使用される。米国は、過去20年間で、合計約3億ドルの支援を行ってきた。うち、150万ドルが医療分野への支援である。今回の資金援助は、これら支援の追加となる。

(3/28 ベラパン通信)

### ●ハジェフ・ベラルーシ外務次官、ベスコスティ駐ベラルーシ・トルクメニスタン大使と会談(3/27)

両者は、新型コロナウイルスの拡散防止策、海外にいる両国民の利益の保護について協議した。

(3/27 ベラパン通信)

### ●マケイ外務大臣、ラブロフ露外務大臣と電話会談(3/26)

両者は、帰国困難な状況にある両国民の帰還措置について協議した。マケイ外務大臣は、ロシア空港における定期便・チャーター便の運休措置に関連し、両国民の避難活動に際し、区別を行わないよう要請した。ラブロフ露外務大臣は、「ロシア政府は困難な状況に陥った全てのベラルーシ人とロシア人に援助を行うべく尽力する。」と発言した。

(3/31 ベラパン通信)

### ●ユーラシア経済委員会のビデオ会議実施(3/25)

ミヤスニコヴィッチ委員長は、「ユーラシア経済連合加

盟国内では依然として新型コロナウイルス感染の安定化は見受けられない。製造や融資分野において問題がある。他方で、各国政府は、体系的かつ実務的な決定を下している。ユーラシア経済委員会は、状況を観察し、加盟国に対し一定の助言を行う。加盟国による一方的な禁止・制限の導入によって連合内の市場がぐらつかないように、各種決定を行うことは合理的である。」と発言した。

(3/25 ベラパン通信)

### ●ベラルーシ内務省、ロシアと出国禁止・制限を受けている両国民の共通名簿の作成を継続。

ベグン・ベラルーシ内務省国籍・移民局長は「共通名簿の作成は4月1日に完了を予定している。既にロシア側より、ロシア領域からの出国権利の制限を受けている同国民の名簿を受領した。現在、我々は当国の銀行のデータベースと同情報の統合作業を行っている。」と発言した。

(3/24 ベラパン通信)

## 【経済】

### ●ベラルーシ政府、ロシア銀行「プロムスヴァジバンク」とベラルーシ企業輸出支援に向けた合意を締結。

同合意により、ベラルーシ企業より輸入を行うロシア企業は優遇条件での融資を受けることが可能となる。

(3/26 ベラパン通信)

### ●2020年1月、ベラルーシ工業企業の純損失額、約2倍に増加。

2020年1月時点のベラルーシ工業分野における不採算企業数は、457社と昨年同期対比、12社増加。純損失額の合計は、3億8330万ルーブルと、昨年同期対比、1.9倍であった。

(3/26 ベラパン通信)

### ●2020年1月、ベラルーシ・EU間貿易高、3分の1以下に減少。

2020年1月のベラルーシ・EU間貿易高は、802百万ドルと、2019年1月対比、33.8%減少した。

(3/25 ベラパン通信)

●2020年2月, 1月対比実質賃金約0.9%減少。

2020年2月のベラルーシの名目賃金は1119.7ルーブルと1月対比1.6ルーブル(0.14%)増加。物価上昇率は1%であり, 実質賃金は約0.9%減少。

(3/24 ベラパン通信)

●2020年1月, ベラルーシ石油製品輸出量, 昨年対比3分の1以下に減少。

2019年1月ベラルーシ石油製品輸出量約100万トンに対し, 2020年1月の同量は30万5900トンであった。

(3/24 ベラパン通信)

●ルマス首相, 「ロシア石油企業, ベラルーシにプレミアム無しで石油供給予定」(3/24)

ルマス首相は, 「ベラルーシは, 昨年末から, ロシア企業による当国製油所向けのプレミアム無しでの石油供給について交渉を行ってきた。プレミアムは, 石油1トンあたり11.7ドルである。3月21日, ロシア政府とプレミアム無しでの石油供給に関する合意に至った。ロシア石油企業は, 11.7ドルのうち, 7ドルの値引きを行い, ロシア政府が残り4.7ドルを調整する。ロスネフチ社は, 他の石油企業と同様, プレミアム無しでの石油供給に合意しておらず, プレミアム満額の支払いを主張してきた。ベラルーシは, 後払い等の好条件を提案する石油企業を選択する。そのため, ロスネフチ社が, 供給者の一社であるということは現時点では事実ではない。ベラルーシは, 非常に困難であった第一四半期に石油を供給してくれた石油企業を優先する。」

(3/24 ベラパン通信)

●ベラルーシ政府, ビジネス支援の提案を準備

ルマス首相は, 「閣僚会議は, 困難に直面するベラルーシ企業の支援のための提案を準備している。その後, 大統領により審査される。経済省は, 納税や債務返済の猶予, 個人事業主援助のための各種施策

等, ビジネス支援に向けた提案をした。我々の次の手は, 経済状況の今後の進展にかかっている。」

(3/24 ベラパン通信)

**内政・軍事**

●新型コロナウイルスの持ち込み, 拡散防止措置に関する政令171号の制定

(3/26 ベラパン通信)

●ベラルーシ・インターネット通信社「日記(Ezhednevnik)」セルゲイ・サツク編集長, 逮捕。

(3/25 ベラパン通信)

●ベラルーシ・ポーランド空軍, 合同演習実施

ベラルーシ国防省は「同演習は, 2021年アイスホッケー世界選手権, 2023年の欧州競技会開催時の航空安全保障に向けた準備の枠組みで行われた。」と発表。

(3/25 ベラパン通信)

(了)